

# 議会だより

Vol.  
**181**  
2015.1.23

12月の  
定例会

- 2 1年間の議会活動を  
ふりかえる
- 4 定例会・臨時会報告
- 6 ズバリ!! 町政を問う  
3議員が質問
- 12 シリーズ 復興へのあゆみ

これまでの感謝 これからの誓い/富岡町成人式

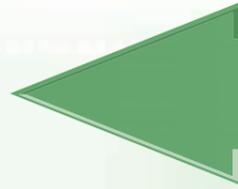


# 1年間の議会

# 活動をふりかえる

富岡町議会は、年に4回開催する定例会や重要な案件の審議が1年間の議会活動を振り返りつつ、その一部をご紹介します。

必要な場合に開催する臨時会以外にも、様々な活動をしています。



- 1月12日 成人式に出席
- 3月11日 東日本大震災慰霊祭に出席
- 3月13日 富岡第一・第二中学校卒業式に出席
- 3月20日 富岡第一・第二小学校卒業式に出席
- 4月7日 富岡第一・第二中学校入学式に出席
- 4月12日 小泉進次郎政務次官に『第一原発廃炉と新たな雇用の場を求める意見書』を提出
- 5月5日 三春町時代行列に参加
- 5月14日 富岡小中学校三春校を訪問  
教育環境の調査と学ぼう子どもたちの話を聞きながら一緒に給食を試食
- 5月15日 福島県市町村議会報研修会に参加
- 5月22日 福島第一・第二原発を視察  
現地を視察するとともに、働く作業員を激励
- 5月24日 富岡幼稚園・小学校運動会に出席
- 7月10日～11日 全国市町村議会報研修会に参加
- 7月18日 除染・賠償・復興に関する国への要望活動  
一律賠償を求める署名及び除染等に関する要望書を国に提出
- 7月25日 郡山市議会との意見交換会
- 7月～9月 県内各自治会との意見交換会
- 8月3日～4日 埼玉県杉戸町流灯祭りに参加
- 8月7日 友情の集いに出席
- 9月4日・11日 敬老会に出席
- 9月26日 富岡町内の農地及び除染状況を調査  
下郡地区の米の栽培状況と高津戸地区の家屋の除染現場の現地調査を実施
- 10月21日 双葉郡市町村議員研修会に参加
- 10月22日 静岡県磐田市議会との意見交換会
- 10月28日 福島県市町村議員研修会に参加
- 11月2日～3日 埼玉県杉戸町産業祭に参加
- 11月5日 戦没者追悼式に出席
- 11月18日～19日 原子力サミットに参加  
原発立地自治体の各議員と住民の安全・安心の確保やそれぞれの地域に存在する諸問題について議論した。
- 12月22日 いわき支所開所式に出席



原子力サミットに参加



埼玉県杉戸町産業祭に参加



下村文部科学大臣に要望書を手渡し



運動会で綱引きに参加

10月～12月期

# 定例会・臨時会 報告

## 2回の臨時議会を開催

### 富岡工業団地に係る修繕工事請負契約の締結案を可決



法面の災害復旧工事

平成26年第7回富岡町議会臨時議会を平成26年10月7日に富岡町役場郡山事務所桑野分室で開催し、富岡工業団地に係る修繕工事請負契約の締結案を全会一致で可決しました。

今回行う富岡工業団地の修繕工事は、シャープ富岡太陽光発電事業への用地の貸与のための機能回復工事です。

締結先 桂建設株式会社  
 契約金額 6858万円  
 完了工期 平成27年2月27日

### 公共下水道(富岡川以南)災害復旧工事請負契約の締結案等を可決



曲田地区工事地

平成26年第8回富岡町議会臨時議会を平成26年11月26日に富岡町役場郡山事務所桑野分室で開催し、公共下水道(富岡川以南)災害復旧工事請負契約の締結案を全会一致で可決しました。

今回行う公共下水道の災害復旧工事は、震災により公共下水道施設である汚水の幹線管渠に変異が生じたため、公共災害復旧事業により行うものです。

工事箇所は、曲田区画整理地内と富岡浄化センター付近です。

締結先 桂建設株式会社  
 契約金額 7398万円  
 完了工期 平成27年3月25日



富岡浄化センター前工事地

## 定例会のあらまし

平成26年12月定例会は12月16日から17日まで2日間の会期で開催しました。平成26年度の補正予算、条例及び規約の一部改正案件など、計10件の議案を慎重に審議し、全て原案のとおり可決しました。一般質問では3議員が登壇し、今後直面する課題や町政運営のあり方について問いただしました。



この条例は、平成26年12月22日から施行されます。

- 新** 福島県いわき市 平北白土字宮前8番地
- 旧** 福島県いわき市 平字梅本15番地

いわき支所の移転に伴い、条例に記載された位置を次のように改正しました。

いわき支所移転に伴う  
 条例の一部改正

「いんなことが決まりました」

平成26年度補正予算  
 全会一致で可決

### 【一般会計補正予算】

3億8547万円を増額 総額115億976万円に

事業の精査により補正のあった主な事業

- ・復興交付金基金費(国交省) 8億8719万円増
- ・防災費(防犯対策事業費) 2億8600万円減
- 入札による防犯カメラリース料の減額
- ・戸籍住民基本台帳費(広域交付事業費) 6672万円減

問 いわき支所が北白土に移転し、施設や駐車場等の利便性は向上したが、業務の充実についてはどう考えているか。

答 いわき支所長

人員の充実についてはすぐに対応するのは難しい状況ですが、職員の内務研修を充実させ、住民票の異動届の処理など、これまで郡山事務所ではできなかったことも順次支所で行えるような組織づくりに努めます。

問 戸籍住民基本台帳費が大幅に減額されている理由は。

答 住民課長

コンビニで住民票の交付を受けられる広域交付システムの構築準備をする中で、機器の導入にかかる部分、ソフト開発にかかる部分について、平成27年度着手となったため、減額補正したものです。平成27年度に改めて「コンビニ証明交付システム構築事業」として予算要求します。





遠藤 一善 議員

## 問 今後の基幹産業の方針は

## 答 従来の産業構造を大胆に改革

岡町農業復興組合を設立します。その組合の中で、従来の水稲重視による施策にこだわらず、非食用作物の栽培、土壌を

**答 町長** 今年6月に営農再開に関する意向調査を実施した結果、再開を断念する回答は約38%、農業以外に農地の活用を望む意見は約82%となり、将来の農業復興に対する意見は大変厳しい結果でした。町としては、少数意見ではありますが、営農再開に向け、除染後の農地保全管理を協議するため、富岡町農業復興組合を

**問** 震災以前の富岡町は、豊かな自然のもと農業を基幹産業と位置づけていたが、将来に向けての方向性は。

**答 町長** 今年6月に営農再開に関する意向調査を実施した結果、再開を断念する回答は約38%、農業以外に農地の活用を望む意見は約82%となり、将来の農業復興に対する意見は大変厳しい結果でした。町としては、少数意見ではありますが、営農再開に向け、除染後の農地保全管理を協議するため、富岡町農業復興組合を



高津戸農地の現況

直接使用しない実証栽培等安定した農業経営の構築を検討します。他方で、農業以外の基幹産業としては、イノベーションコースト構想を視野に入れ、未利用地となる遊休農地を高度的に利用した新たな産業構築を検討しています。現在のところ、町全

**問** 新たな構想はいつ頃発表になるのか。

**答 町長** 27年6月に発表予定の第2次富岡町復興計画の中に盛り込む考えです。

体が新たな展開の中で発展を遂げるよう議論を進めているところです。

**問** 本格除染の中でホットスポットの除染をフォロワーアップ除染で実施

**問** 宅地内の除染で放射線量が下がらない部分があり、本格除染の中でアスファルト等を除去すべきと考えるが。

**答 町長** 環境省に対し、ホットスポットがあった場合はその原因を調査し、再度除染を行うことを



除染後のホットスポット(線量23.39μSv/h)

# ズバリ!!

# 町政を問う

### 3議員が質問

12月定例会の一般質問に3議員が登壇し、町の対応や考えなどを問いました。この紙面では、質問した順に質疑応答の要点をお知らせします。

## 1 遠藤 一善 議員 ..... 7

1. 今後の基幹産業について
2. ホットスポットの除染について

## 2 早川 恒久 議員 ..... 8

1. 帰還後の高齢者の住まいについて

## 3 山本 育男 議員 ..... 9

1. 予算編成について
2. 町創生について



動画配信中!



山本 育男 議員

## 問 27年度予算編成の優先課題は

## 答 心の復興を重視した予算編成をする

**問** 震災後の町の復興、復旧が道半ばの中、平成27年度の予算編成に対する基本的な考えは。

**答 町長** 事業の必要性、優先度を十分に検証した上で事業の選別、重要化を図り、めりはりのある当初予算を編成する考えです。

**問** 復興再生に向けた取り組みに必要な財源確保について、国や県に適時、適切に要請するほか、交付金の使途の柔軟化についても国に対して要望しており、効率的な財政運営を講じていく考えです。

**問** 重点的、優先的に行う事業は。

**答 町長** 町内のイ



心をつなぐために(友情の集い)

**問** 地方創生法に対する町の対応は

**答 町長** 町の復旧・復興を最優先に取り組み

**問** 人口減少対策や地方活性化に向けた取り組みを定めた『まち・ひと・しごと創生法』に対する町の対応は。

**答 町長** 町としては、人口減少社会の到来は、人口減少対策であり、人口の減少や雇用の場の確保は危惧するところであり、今後検討を要すると思われるが。

**問** 帰還するにあたって、人口の減少や雇用の場の確保は危惧するところであり、今後検討を要すると思われるが。

**答 企画課長補佐** 県主催による市町村担当者会議の中で、将来的に人口が減少していくビジョンが示されています。

**問** 帰還後の生活には、介護も含め、医療施設の整備は必要不可欠と考えるが、町の開業医と今後について話し合いの場を設けているか。

**答 町長** 帰還するにあたり、当然医療施設は欠かせないものと考えていますし、町で開業されていた先生方と今後について話し合いも進めています。

**問** 医療施設の整備は、拠点整備事業の中に組み込んでいかなければならないと考えています。

**答 副町長** 町の復旧、復興が大前提ではありますが、地方再生の考え方や方向性は考えていかなければならない課題であります。今後、国の総合戦略の状況、県との調整、被災12市町村の将来像などを総合的に見極めながら、適切に対応していきたいと考えています。



早川 恒久 議員

## 問 町内に高齢者向け介護付き住宅が必要では

## 答 整備に向けた検討が必要

**問** 町内に帰還する町民は高齢者が多いことが予想される。安心して長期間生活のできる高齢者向け介護付きの住宅と特別養護老人ホームが必要と考えるが町の考えは。

**答 町長** 帰還する町民の多くが持家での生活を基盤とすることから、まずは帰還者の健康を守るため、医療サービスの提供を確保しなければなりませんと考えます。

さらには、孤立化を防止するために、社会福祉協議会や民生委員等による見守りと、祭りやイベントを定期的開催し高齢者の外出機会を増やすことも必要であると考えます。

また、公営の高齢



閉鎖中の館山荘

**問** 高齢者のまちづくりについて第二次復興計画に盛り込むべきでは

**答 企画課長補佐** 計画の中に組み入れていきたい

**問** 健康福祉課長 伸生双葉会として、戻れることなら戻って事業を再開したいという考えはあるようですが、人材の確保が非常に厳しい状態だと聞いています。

今後継続して、町内の館山荘の再開を検討してもらえよう依頼していきます。

**問** 病院、介護施設、デイサービス施設等が集約した、高齢者が住みやすいコンパクトなまちをつくるべきと考えるが、第二次復興計画に盛り込むべきでは。

**答 町長** 復興計画は3月までには骨子がまとまる予定でありますが、その中に当然組み入れていきたいと考えています。

## 産業復興常任委員会

### Q 上水道の料金の徴収方法は。

A 毎月の基本料金は徴収せずに、累計で10m<sup>3</sup>を超えた月に『その月の基本料金+使用した水道料金』を徴収します。例えば2月に5m<sup>3</sup>、3月に6m<sup>3</sup>使用した場合、2月は徴収せずに、3月に3月分の基本料金と11m<sup>3</sup>分の使用料金を徴収します。

【復旧課】

Q 町内にある倒壊の危険がある家屋の中で、相続放棄などにより本人申請ができない場合の対応は。

A 現時点では本人から申請があった場合にのみ、解体することとしています。本人申請ができない家屋について、環境省と対応を協議します。 【生活環境課】

Q 町内の除染がなかなか進まない状況だが、除染完了の見通しは。

A まだすべての仮置き場が稼働できていないので、除染を一気に進められない状況です。国が示した実施計画では、除染完了は平成29年3月となっていますが、町として少しでも計画を前倒しできるように強く要望しています。

【復興推進課】

Q 就労不能損害と営業損害に対する現時点での国の考え方は。

A 就労不能損害については、やむを得ない事情がある場合を除き、平成27年2月で終了の方針です。町では『やむを得ない事情』というのが何を指すのか、国に確認しているところです。営業損害についても平成27年2月が終期となっています。町として延ばしてほしいという要望は出していますが、まだ国から回答が来ていない状況です。

【産業振興課】

常任委員会とは、本会議前に各課の事務の執行状況それぞれの常任委員会が調査し

## 総務常任委員会

Q いわき支所で月に数回でも、税や福祉、介護等の担当職員と直接相談できるような機会を設けられないか。

A 建物ばかりでなく、いわき支所の業務をさらに充実させることはとても重要であると考えていますので、他課と連携して取り組めるような方法を検討します。

【いわき支所】

Q 固定資産税の課税時期の見通しは。

A 避難が継続している間は減免すべきと考えます。避難指示が解除された後は、評価替えでの再評価の仕方や課税免除期間の延長等の対策を講じながら、周辺町村の動向も踏まえて、課税決定をしていきたいと考えます。

【税務課】

Q 第二次復興計画を策定する上で、町民の意見と町の方針をうまく融合させる必要があるのでは。

A これまでは先入観を持っていただきたくなかったのですが、策定委員会の中で町の考えや方針は極力出さないようにしていましたが、今後は町の方針を示しながら、町民の意見とうまく融合させ、実現性の高い実のある計画にしたいと考えています。

【企画課】

Q 介護予防という意味でも、いわき地区にも、元気な方を対象とした高齢者サポートセンターが必要だと考えるが。

A 社協やサロンと連携し、いわき支所に併設された多目的ホール等の利用も考えながら、対応できるよう検討します。

【健康福祉課】

議案などを事前に審査したり、などを調査する場です。た主な事業について報告します。

# 復興へのあゆみ

昨年各地で開催した意見交換会や様々な『富岡町から遠く離れた土地で長く避難生活を送っていると、皆様の先が見えない不安を私たち編集委員が現地に行き、

イベント等で、町民の方から多く聞かれるのは『富岡町が今どうなっているのかわからない』という声です。少しでも解消できるように、富岡町の現状をお伝えします。



3 常磐富岡ICの再開通に伴い、高津戸街道の交通量が増加除染も進んでいる(空間線量 0.64 $\mu$ Sv/h)



4 平山自動車工業(富岡町仏浜)

ふるさとで  
事業を再開



5 ENEOS猪狩商店(富岡町上郡山)



1 小良ヶ浜仮置き場を造成中(空間線量 3.02 $\mu$ Sv/h)



2 毛萱地区に焼却施設を建設中(空間線量 0.15 $\mu$ Sv/h)

## 原発事故後の避難状況と対応策を伝える ～ 静岡県磐田市議会との意見交換 ～

平成26年10月22日、富岡町議会議長、副議長、各常任委員長及び町執行部は、静岡県磐田市議会 会派『志政会』の議員の皆さまと意見交換をしました。

東海地震発生 of 切迫性が指摘されており、地震の影響で浜岡原子力発電所に事故が起されれば、30km圏内に位置する磐田市は大きな被害を受けます。

町議会及び執行部は、原発事故後の避難状況を説明するとともに、有事の際に備えておくべき対応策について述べました。

### 《避難手段・場所・ルート等の確保》

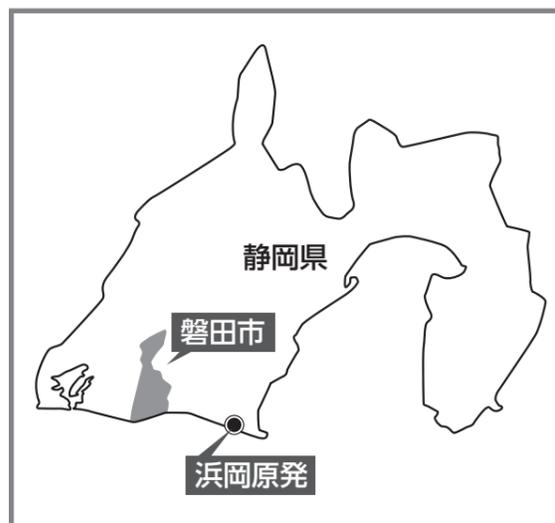
#### Q 事前に避難先を決めていたか？

A 西(川内村)へ避難するという大まかな取り決めはしていたが、このような全町民が避難することを想定しての避難先の設定はしていなかった。あらかじめ、避難手段・場所・ルートを設定しておくのは重要。また、正確な情報を迅速に伝達する手段を構築しておくことが必要だと考える。

### 《個人情報保護法への対応》

#### Q 事故後、一番苦労したことは？

A 安否確認等、情報の即時性が求められる時にも、個人情報保護法の壁があり、なかなか情報を提供できないことにとっても苦労した。有事の際には、町に提供している情報については、横断的な使用を認めるような管理体制が構築できれば、スムーズな状況把握ができると考える。



磐田市は浜岡原子力発電所から西へ30kmの場所に位置する。

## 原発等 特別委員会

平成26年12月10日に開催した特別委員会で、福島第一原子力発電所1号機から4号機の廃止措置等に向けた中長期ロードマップの進捗状況の説明と現時点での各種賠償に対する東京電力の考えを聞きました。

### 福島第一廃止措置に向けた 取り組み状況を問う

Q 地下水をくみ上げ、浄化して海へ流すことに問題はないか。

A あると考えますが、汚染水の量が多いので慎重に処理する必要がありますと考えます。

全には止めないことや、万が一止まった場合でも、地下水位を保つための供給用の井戸を設置すること、建屋内よりも常に高い水位を保つように細心の注意を払います。

答 東京電力株

法令に基づくトリチウムの排水基準は1リットル当たり6万ベクレルですが、運用基準を1リットル当たり1500ベクレルと厳しい値に定めて運用します。問題ないと考えます。

国の検討部会で、トリチウムの最終的な処理方法を検討して、現在実証段階に入っています。

原発構内で同時進行で行われている様々な作業を、弊社の職員がしっかりと管理できているのが事故の原因であると考えています。

答 東京電力株

Q 法令で認められている基準を下回れば、ALPSでトリチウム以外を取り除いた汚染水も流すということが。

A 地下水の流入を大幅に減らしてしまつと、地下水位よりも建屋内の水位が高くなり、建屋内の汚染水が外に流れ出す危険性があるのでは。

今後、工事全体の現場管理をさらに徹底していきたいと考えます。

答 東京電力株

濃度的には可能で

地下水の流入を完了

地下水位と建屋内の水位のコントロールは非常に重要だと考えています。

中の部分が多いので明確な回答ができませんが、個別の事情をお伺いして、丁寧に賠償を進めていく考えです。

答 東京電力株

### 様々な賠償問題に対する 東京電力の考えを問う

Q 移住に伴う墓の賠償についての考えを聞か。

A 就労不能損害や営業損害の賠償の終期が迫っているが東京電力の考えは。

答 東京電力株

墓の移転や修理の賠償については、関係各所と調整中ですが、賠償させていただくというところで話を進めています。

答 東京電力株

Q 富岡にある墓を撤去する費用は賠償に含まれるか。

今のはくみの中まではどちらの賠償も平成27年2月で終了という方針です。ただし、避難されている方々が様々な事情を抱えていることは十分認識していますので、その事情によっては何らかの対応が必要であるとは考えています。

現時点での様な対応をとるのかは決まっていますので、明確なお答えはできません。



# 年頭にあたり一言ごあいさつを 申し上げます。



日ごろの議会活動に対してご理解とご協力をいただき、衷心より厚く御礼申し上げます。さて、東日本大震災及び原発事故から間もなく4年を迎えようとしておりますが、未だ原発事故は収束しておらず、町民の皆様におかれましては今後不安をかかえながら長期間にわたる避難生活を送られていることに、心よりお見舞い申し上げます。本年は町として、そして個人としてもこれからの方向性を見極める上で、大きな分岐点になる年と考えております。

町議会は町の判断もさることながら、町民おひとりおひとりがそれぞれの置かれた状況を踏まえ、「帰る」「帰らない」「将来的に帰る」等の判断ができる情報を少しでも多く提供していくことが重要であると考えております。

その一環として、今回の議会だよりから富岡町の現状をお伝えする『復興へのあゆみ』をスタートさせました。議会報編集委員が現地に入り、町の復興に向けた取り組みをお伝えします。今後も『やさしく、分かりやすく、迅速に』を心がけ、多くの皆様に愛読されますよう努めて参りますので、より一層のご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。結びに、ご家族ともども、健康で幸多い年であられますことを心よりお祈り申し上げます。年頭のあいさつといたします。

## 富岡町議会

塚野 芳美 議長	堀本 典明 議員	渡辺 光夫 議員	渡辺 三男 議員
早川 恒久 議員	渡辺 英博 議員	三瓶 一郎 議員	
遠藤 一善 議員	高野 泰 議員		
安藤 正純 議員	黒澤 英男 議員		
宇佐神幸一 議員	高橋 実 議員		
山本 育男 副議長			



## 次の議会だより表紙写真を

# 大募集

### 応募締切日

平成27年  
4月15日(水)まで  
電話 0120-33-6466

応募方法などについては、  
議会事務局までお問い合わせください。



桜咲く春の訪れが待ち遠しいですね。

表紙の写真は、成人式で誓いの言葉を述べた平良佳鈴さんです。涙をこらえながら、ご両親やお世話になった方々への感謝の気持ちを伝え、看護師になるという目標に向かってしっかりと前を向く姿に、会場は感動の涙に包まれました。私たち議員は、輝かしい未来ある若者たちのために、これからも精一杯活動していこうという思いをさらに強くしました。

(議会報編集委員一同)

### 発行責任者

議長 塚野芳美

議会報編集特別委員会

- 委員長 高野 泰
- 副委員長 堀本典明
- 委員 早川恒久
- 委員 遠藤一善
- 委員 山本育男
- 委員 渡辺英博

この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。



富岡町公式  
ホームページ



富岡町 で 検索